

東菅高発第 15 号

2020 年 6 月 4 日

保護者 各位

東海大学菅生高等学校
校長 峰岸 英仁

通常登校開始に向けて

新型コロナウイルス(COVID-19)対策で中止・延期されていたスポーツのプロリーグが世界の各国においても、再開するなど、新たな段階に向けて進みだしています。しかしながら、保護者の皆様におかれましては、まだまだ様々なお苦勞があることと拝察いたします。

さて、現在、本校は 2 分割による分散登校と Web による遠隔授業を並行して行っていますが、教育の機会をしっかりと確保するために、次のことを踏まえて、6 月 15 日より分割しない通常登校を開始する予定です。そのひとつは小児科学会が 5 月 20 日付でまとめた「0～18 歳の報告例から医学的知見の現状」によれば、「インフルエンザの場合とは異なり COVID-19 が学校や集団保育の現場でクラスターを起こして広がっていく可能性は低いと推定される」とされていることです。もうひとつは、新型コロナウイルスが、完全消滅するとは考えられず、そのなかで私たちは活動を続けなければならないこととなります。世の中には、他のウイルスや病原菌、交通などたくさんのリスクが存在し、それらを回避するように努力しなければなりません、それらをゼロにすることはできません。あるリスクをなくそうとすれば、犠牲にしなければならないことも出てきます。つまり、リスク回避で得られることと、そのために失うことはトレードオフの関係にありますので、どこかでバランスをとることが必要になります。ぜひとも、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

登下校時のバスに関しては、密集度合いを抑えるために西東京バス株式会社様には特別な対応をしていただいておりますが、それでも配車のやり繰りには限界があります。また、生徒の多くが利用する JR や私鉄等の場合も、避けられないリスクが存在します。これらの点もご了承ください。

なお、保護者の方が新型コロナウイルス感染予防の観点から登校させないと判断された場合、当面は自宅での学習をもって出席といたします。